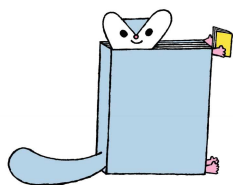


# 「魔法の文学館」



2023. 11. 1  
美幌町図書館長  
竹花 史康

11月3日、東京・江戸川区に、「魔法の文学館」がオープンします。「魔女の宅急便」や「小さなおばけ」シリーズなどで人気の児童文学作家、角野栄子さんの文学館です。2018年に、小さなノーベル賞といわれている、国際アンデルセン賞を受賞しています。

角野さんは江戸川区ゆかりの作家で、区はその作品や世界観を広く紹介しようと計画を進めてきました。建築家の隈研吾さんの設計で、内装は角野さんのテーマカラー、「いちご色」で統一されているそうです。

「魔女の宅急便」をイメージした展示や角野さんの作品をはじめ、1万冊の児童書が所蔵されています。

角野さんは「本は目に見えない不思議な力を持っています。読む人の心に寄り添い、一生涯励まし続ける、魔法の力です。この文学館を訪れた皆さんが、自分だけの魔法を見つけて家に持って帰ってくれたら、こんなにうれしいことはありません」とメッセージを寄せています。

美幌町図書館にも角野栄子さんの本がたくさんありますので、ぜひ借りに来て欲しいと思います。

